



■武庫川廃線跡ハイク女性委員会 一般公開された道を歩き冒険気分を味わう

- 日 程：12月13日(水)
- 参加者：La 藤原(千) SLa 澤田(律) 河合 砂川(美) 田中(美) 平石 松浦
Lb 瀧原 SLb 垣内 小田 笹木 田中(由) 田羅間
- 行動記録：西宮名塩駅(9:42 着)10:00 発～ハイク道出合(10:30 着)～北山第1トンネル(10:50 着)11:00 発～第2鉄橋(12:02 着)12:05 発～親水広場(12:43 着)13:15 発～武田尾駅(13:50 着)

♣♣武庫川溪谷廃線跡ハイキング道のトンネルは冒険気分 松浦

当日朝の兵庫県南部の天気予報では、降水確率10%、強い寒気が南下し最高気温7度、最低気温0度、冬将軍到来ということで防寒対策をしっかりととして電車に乗りました。

JR西宮名塩駅に10時集合。駅前ロータリーで体操し、出発。中国自動車道の下を歩き、西宮名塩は渋滞情報でよく耳にする場所だと思いながら、民家の間の道を通っていると、茅葺き屋根のお家が在り、その近くを進むとJRの生瀬駅からの出合。廃線跡のハイキング道に入ると、足元には枕木が続き、右手に武庫川、川の中には大きな岩が沢山有りました。一際大きな高座岩の下は竜宮城と繋がっていて、岩の上が汚れると洗い流すために雨を降らすので、雨乞いに使われたというお話や、ダム建設が中止になったお話など、色々と教えていただきました。

いよいよ1つ目の北山トンネル前、ライトを点けてリーダーの後に続いて歩きますが、枕木、砂利で躓かないように注意しながら前進し、トンネルを抜けると、ちょっぴり冒険したような達成感。このあともトンネルは続き、一番長い北山第二トンネルの中央部でコウモリがぶら下がっているのを確認し、次の溝滝尾トンネルの出口からは鉄橋が見え、鉄橋を渡ると、また直ぐトンネルと、益々、廃線跡の雰囲気が増しました。途中滝が見える箇所もありました。

廃線跡から一度少し離れ、河原へ降りていき、座り心地のよさそうな石がごろごろした広場で昼食タイム。寒さを覚悟していましたが、晴れていて、ゆっくりと休憩しても寒くなく快適



でした。時折、川面がキラキラと美しく輝いていました。その後、2つトンネルを越え、JR武田尾駅近くで体操し、武田尾駅前で解散。皆様、お疲れ様でした。

おまけ・・・メリケンパークの世界一のクリスマスツリーを希望者8名で観に行きました。

阪急花隈駅からポートタワーを目指し歩いていると、巨大な客船が停泊中、飛鳥Ⅱでした。

ルミナリエが開催されている期間と重なり神戸港は大勢の人がおられ、今年の流行語大賞、インスタ映えという言葉のお手本みたいに、お洒落をした若い女性達が、上手に素早くポーズを決め写真に納まる様子も見受けられました。

今回は事前に廃線跡に関するクイズが出題され、該当箇所では足を留め、皆で答えを考え、藤原さんの解説・解答を聴きました。趣向が凝らされ、とっても楽しく興味深かったです。

リーダーの藤原さんが、綿密な計画を立ててくださったおかげで、武庫川の溪谷美と、トンネルや枕木などの廃線跡、そして神戸港の景色を堪能し、充実した時間をゆっくり過ごさせていただきました。お天気にも恵まれ大満足です。ご一緒させていただき有り難うございました。



■納山会 新たんば荘(篠山) 多紀アルプスを歩く

- 日 程：12月16日(土)～17(日)
- 参加者：23名



■Aコース 三嶽、西ヶ嶽コース

- 参加者：L 砂川(延) SL 須増 大谷 田中(重) 西脇 平井

- 行動記録：奥畑登山口(10:50着)11:05発～鳥居堂跡(12:20着・昼食)12:40発～大岳寺跡13:00～三嶽山(13:30着)13:40発～西ヶ嶽(14:40着)15:00発～藤岡ダム分岐15:10～藤岡ダム16:10～新たんば荘(16:45着)

◆◆Aコース 奥畑登山口～三嶽～西ヶ嶽～藤岡ダム

平井

近年いけなかった「納山会」。ぼたん鍋と宴会に誘惑され、仕事を工面、今年の締めくくりとの大義名分で奥方の認可を執り、急遽追加で申し込みさせて頂きました。

登山者のバランスを考え、参加者の少ないコースを希望、無謀にも「健脚コース」となる。

昨今、皆から関取、太鼓腹、登山には不向きとの影の声、普段の仕事、生活にはなんら差し支えないので、大見得を切ってAコースに参加してしまいました。

当日、マイカー駐車可能な播磨中央公園より乗車、今年は参加者も23名と少なく9:50分集合、バスの中では仲間と雑談に講じました。

Aコースは一番に奥畑ののどかな田んぼの中に到着。6名でストレッチ後、農家と農家の間の路地を通り抜けた先の、防獣ネットのゲートを開けて入りました。急坂を脈拍150で登り切り、尾根筋を30分ほど歩くとクリン草群生地との看板に出くわす。このころから私だけ、チームについてゆくのきつく、息がきれ汗が噴き出す始末。日頃の鍛錬不足、S氏に相談すると最初に大股で飛ばしすぎとのこと。砂川リーダーが密林を駆け巡る「ターザン」に思えてきました。苦しいながら13:30分三嶽頂上(793m)、幸い予想したより天候はよく曇天でしたが、季節柄登山道が落葉におおわれ足元をすくわれる始末。イノシシが獣道を見事に耕していました。



14:40分西ヶ嶽到着(727m)下りの急こう配では階段が延々と続くが、リーダーは葉っぱで埋もれた階段(登山道)を、探し出すのをいつもになく苦戦されていました。

私は15:50分頃から珍しく左足がつり出し冷や汗ものでしたが、非常時の食塩を持っていたので、15分ほどで復帰して何とか16時10分ごろ藤岡ダムに到着しました。

久しぶりの山行きは健脚な先輩に連れられ、自分の不甲斐ない実力を再確認した1日でしたが、宴会の猪肉でパワーアップ、来年こそはスリムになり猛進する次第です。

【一口メモ】

三嶽は篠山市の最高峰、多紀連山の主峰であり兵庫50山の1つです。

鎌倉時代から室町時代にかけては丹波修験道として栄えたようです。



■Bコース 多紀アルプス

● 参加者：L山本(正一) SL赤木 岡田 垣内 島谷 西川 森本 安田 和田

- 行動記録：JR加古川駅9:00発→大たわ駐車場(12:00着:昼食)～大たわ登山口12:40発～三嶽13:40発～西ヶ嶽15:00発～藤岡ダム(16:00着)16:35発→新たんば荘(17:00着)

♣♣納山会に参加して

岡田

家を出るときは、冷え込みがましに感じられた朝だった。12月に入会し、いきなり納山会に参加させていただいた。

私の乗車場所は宝殿駅。駅から出てもそれらしき人たちは見当たらない。キョロキョロしていると「岡田さ〜ん」と呼ぶ島谷さんの姿が見えてホッとした。バスは次いでJR加古川駅、播磨中央公園で停まり、全員を乗せて丹波篠山をめざした。

Aコースグループを降ろした後、大たわ駐車場に向かう途中、10月の台風で崩れた道路の修復工事のため通行止めとなっていた。マイクロバスは狭い道をバックし、やっとの思いで切り返せる場所を見つけた。まわりからヤイヤイ言われて緊張されたドライバーさんお疲れさまでした。その後、西紀まわりで大たわ駐車場へ向かったため、時間の都合で予定していた小金ヶ嶽ピストンは断念。またの機会の楽しみにおいておこう。

大たわ駐車場には雪が少し残っていてとても寒かった。12時前だったので、昼食をとってからスタートすることになり、駐車場近くのフォレストアドベンチャーの小屋の中で食べさせてもらった。薪が燃えていて寒さが凌げたのがありがたかった。

スタートして、はじめから階段が続いてきつかった。雪の上を歩くところもあって、雪が好きな私はちょっとワクワクしながら歩いてそれも楽しかった。途中で先についていたAコースグループと合流、健脚だなあ。休憩している間にCコースグループも合流。私たちは三嶽の頂上では記念撮影はせず(あ、撮らないのねと思いつつ)、西ヶ嶽で記念撮影をした。下りの長い階段は、落ち葉がかぶさっていて滑りやすく、何人もが滑っていた。私もその1人でお尻を思いっきり打った。とても怖かったのは、川にかかった3本丸太の橋が傾いていて、渡るとき滑り落ちそうだったこと。1人ずつ慎重にゆっくり渡った。予定の時間より少しだけ遅れて新たんば荘のマイクロバスが待つ藤岡ダムに無事ついた。



■Cコース 多紀アルプス

●参加者：L上田 SL澤田(律) 貝塚(文) 荘所 砂川(美) 中村 廣岡
山本(正樹)

●行動記録：おおたわ駐車場 12:35～三嶽(13:30 着)13:40 発～西ヶ嶽(14:50 着)15:00 発～藤岡ダム 16:20 着

♣♣急登、急降、なんとかクリアして無事納山会おわる

廣岡

天気予報では午後から雨となっていたのに予想に外れてお天気には何とか恵まれました。

初参加なので1番短い距離のC西ヶ嶽コースを選びました。歩行距離5.4km、コース時間3時間半。奥畑コースのメンバーが登山口の近くで途中下車の後、おおたわ駐車場に向かい

ましたが10月の台風の影響で道路通行止めの為、細い山道をバス運転手の上手なバック走行で方向転換し回り道して、遅れておたわ駐車場につき、急いで昼食とストレッチの後、12時30分三嶽に向けて出発。

登り口は早速に急な階段が続きます。なかなか終わりません。三嶽につく前の岩場はまたまた私にとっては難所。793mの山頂についた時はホッとしました。次は西ヶ嶽に向かって尾根沿いに猪が掘り起こした道を横目に歩き又もや山頂近くの急勾配を登りやっと西ヶ嶽に到着。急登あれば急降は当たり前。慎重に慎重に藤岡ダムに向かいました。途中奥畑Aコース、小金ヶ嶽Bコースのメンバーに道を譲り、あの滑りやすい枯葉と土と小石が覆いかぶさっている黒い小幅な階段を、絶対滑らずに降りるぞ！！と、思った瞬間、ズズッと滑り落ち皆様をビックリさせてしまいました。枝打ちされた小枝が足やストックに絡まり本当に歩きにくい道でした。藤岡ダムについては4時半頃でした。温かく迎えてくださったAコースBコースの方々をお待たせした事を反省いたしました。無事下山出来たこと感謝です。

L上田様、SL澤田様、皆様ご支援をくださり、ありがとうございました。



また私にとっては難所。793mの山頂についた時はホッとしました。次は西ヶ嶽に向かって尾根沿いに猪が掘り起こした道を横目に歩き又もや山頂近くの急勾配を登りやっと西ヶ嶽に到着。急登あれば急降は当たり前。慎重に慎重に藤岡ダムに向かいました。途中奥畑Aコース、小金ヶ嶽Bコースのメンバーに道を譲り、あの滑りやすい枯葉と土と小石が覆いかぶさっている黒い小幅な階段を、絶対滑らずに降りるぞ！！と、思った瞬間、ズズッと滑り落ち皆様をビックリさせてしまいました。枝打ちされた小枝が足やストックに絡まり本当に歩きにくい道でした。藤岡ダムについては4時半頃でした。温かく迎えてくださったAコースBコースの方々をお待たせした事を反省いたしました。無事下山出来たこと感謝です。

無事下山出来たこと感謝です。



■六甲クリスマス山行

- 日 程：12月24日(日)
- 参加者：La 砂川(延) SLa 瀧原 大谷 香川 狩集 木村 笹木 島谷 田羅間
Lb 待場 SLb 三木(悦) 西口 橋本(健) 開 廣岡 森本 安田

- 行動記録：阪急六甲駅9:00 発～護国神社(9:12 着) 9:25 発～長峰橋(9:50 着)9:55 発～掬星台(11:30 着)12:05 発～学校林道分岐(13:05 着)13:10 発～ハーブ園分岐(13:55 着)14:00 発～新神戸公園(14:40 着)14:50 発～新神戸駅 15:05

♣♣締めくくりのクリスマス山行

木村

このクリスマス山行を今年の山行の締めくくりにしたいと思い申し込みました。

2・3日前までは雨になる確率が高かったのが、前日にリーダーから晴れのち曇り午後6時以降の予報とのメールが入り、安心して出掛けました。

当日は阪急六甲駅に集合し、護国神社へ移動してストレッチをしました。この日は時期としては暖かく、最初に小休憩した長峰橋で上着を脱ぐほどでした。時々陽も差し、少し汗ばむほどで天候を気にすることなく楽しく歩くことができました。

掬星台まであと0.3キロと書かれた標識からが最後のきつい登りでした。そして



神戸の街を眺めながらの楽しい昼食タイム。でもやっぱり風は冷たく暫く座っていると、じわりと体が冷えてきました。

掬星台で集合写真を撮り近くの摩耶山山頂に行った後、天狗道、稲妻道を下っていきました。

朝リーダーから「天候が気になるのでハーブ園は省略します。」と説明があったので、ハーブ園はトイレだけお借りして素通りしたのですが、ここからの下りは歩く人が少ないのか山道に落ち葉がかなり積もっていて滑らないように注意しながら歩き、車道に出た時はほっとしました。

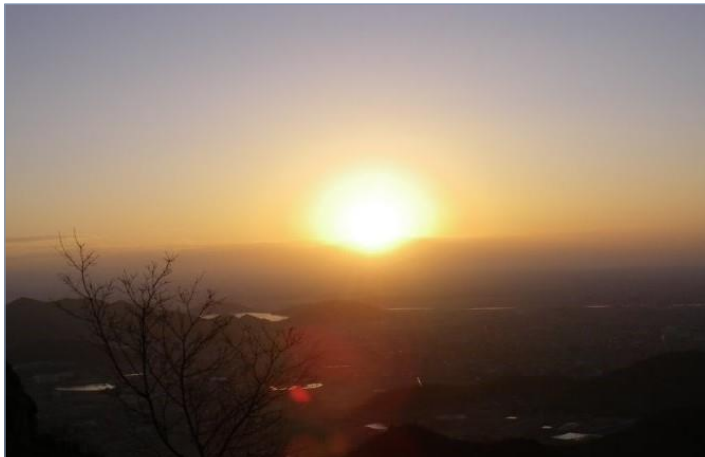
そしてザコバで全員生ビールで乾杯し、わいわいとおしゃべりタイムです。クリスマス山はこのザコバがあって完結かなと思いました。

今回は天候にも恵まれ楽しい山行になりました。リーダーはじめ皆さんありがとうございました。

■元旦ご来光登山・高御位山の報告

砂川(延)

今年の初日の出は山裾に雲が帯状に出ていることから、本来の時間よりも8～9分遅れの午前7時17分頃のご来光となりましたが、上部には雲がなく去年と同じく素晴らしいご来光を拝顔することができました。



去年来、ご来光登山で訪れる登山者が多くて、新池の駐車場も早くから満車状態になる可能性が大でしたので、事前にメールで集合時間より少し早く到着するよう案内を出しておきましたが、5時30分頃にはほぼ満車状態でした。暗いこともあり、会員かどうかの見分けづらいこともあり、例年になく少ない感がして、少し不安になりました。

高御位山に上がり参拝を済ませていつもの場所に行くと、先に上がったメンバー以外にも何人もいて早くに上がっていたのだと分かり、ご来光を待つことになりました。

いつも顔を見る高御位神社の長谷川さんが今年は顔を見ないので、高御位山遊会の初穂料を、お供えをする際に受付の人に聞くと、ご不幸があって元旦は高御位神社に上がれなくて成井の方でイライラしているとの話でした。

いつもの通り参加者の集合写真を撮り、現地解散としました。下山の際も参拝者が多く成井方面への下山は警戒に当たる警察官が制限をかけていたようでした。

【参加者】

下記のとおり会員 13 名と家族 2 名でした。

香川 木下 木村 澤田(卓)

澤田(律) 島本 砂川(延)(他に家族 1 名)

須増 田中(良) 田原 増田

福原(他に家族 1 名) 山下(雅)



■新春トレーニング山行 高御位山～桶居山

● 日 程：1月3日(水)

● 参加者：

1 班 L砂川(延) SL 西口 河合 笹木 藤原(浩)

2 班 L垣内 SL 和田 荘所 高島 橋本(健) 山本(正一)

3 班 L赤木 SL 大谷 関山 田中(重) 矢根

4 班 L澤田(律) SL 佐々木 上田 狩集 木畑 待場

- 行動記録：長尾駐車場 9:10 発～高御位山(9:55 着)10:05 発～桶居山分岐 10:30 着～鉄塔(11:40 着)
(1 班) 11:50 発～桶居山(12:05 着)12:15 発～鉄塔(12:45 着・昼食)13:00 発～中所中池
(13:50 着)13:55 発～高御位山縦走路(14:40 着)14:45 発～鹿島神社(15:15 着)
15:20 発～長尾駐車場(15:45 着)
- 行動記録：長尾新池駐車場 9:10～高御位山(9:55 着)10:00 発～桶居山分岐 10:40～桶居山
(3 班) (12:00 着)～鉄塔(12:30 着・昼食)13:00 発～別所中池(13:45 着)13:50 発～
鹿嶋神社(15:15 着)15:20 発～長尾新池駐車場(15:50 着)
- 歩行時間：約 7 時間(休憩含) ● 歩行距離：13 km ● 累積標高：940 m

◆◆新春トレーニング山行(高御位山～桶居山)に参加して 藤原(浩)

新年を迎えて高御位山遊会会員の皆様、明けましておめでとうございます。

1月3日(水曜日)新春、初めてこのトレーニング山行に参加しました。当日は我々の前途を祝うかのすばらしい天候でした。

めざす高御位山頂は雲一つない真青な空でした。集合時間前 15 分の間に白銀の翼をはばたかせた旅客機が山頂上空を 2～3 機飛び交いました。素晴らしい眺めでした。

高御位山・桶居山山頂をめざして、参加者 22 名を 4 班に分け実施されました。午前 9 時に集合、班分け、点呼、ストレッチの後、リーダー砂川会長先導の下出発しました。

山頂は雲ひとつなかったけれど、周辺には雲の漂いがあり、“高御位山から見られる景観は、少し雲が漂っている時の方が一番良いですよ(遠くまで見渡せますよ)”という話を聞いていたので、本日は最高の状況だと期待して登り始めました。期待通りの天候状態でしたが、どの方向にめざす所があるのか分からず、立ち止まり聞いていると「列を乱さず歩いて下さい。」と忠告されてしまいました。集団行動には当然の事なのですが、ポイントごとに少しは説明される場所があってもいいのではと感じました。でも、明石大橋・淡路島・加古川・

高砂・姫路方面の市街地・家島・小豆島を一望することができました。

「好天候の時は、瀬戸大橋も見られますよ」と、聞いていましたが残念ながら確認することができませんでした。



桶居山への分岐点を過ぎてからは、山肌ばかりの景色でしたが、雲の流れで山肌が濃緑地帯、明緑地帯と移り変わる景色は山の魅力を焼き付けるものでした。目的地桶居山山頂に近づくにつれ、黒い雪雲らしい雲が桶居山上空にかかって来て、雪もちらほら降りかかってきました。山頂に立っても絶景は望めないなあと、思われました。ところが山頂に立つと今までの雲がどこにあったのかと言う天候に変わり、素晴らしい絶景を満喫することができました。

昼食時は雪が舞い始め、私達の場所は雪が少し舞う程度でしたが、谷間は猛吹雪と思われる風と雪の壮絶な景色を見ることができました。昼食後の行動が危ぶまれました天候も、出発を始めると雪は通り過ぎて、又すばらしい天候に変わりほっとしました。この度(1回目は三ノ峰山行時)も山の織り成す色々の現象の一部を見せてくれた心に残る山行でした。

最後までお世話してくださった世話役の皆様方又、一緒に参加された皆様方本当にありがとうございました。

♣♣初めての新春トレーニング

高島

高御位山遊会入会して、初めて新春トレーニングに参加させていただきました。

厳しいトレーニングだと聞いたので、出発前に少し荷物を減らす事にしました。新池駐車場から高御位山山頂へ。その道は、山頂付近まできれいに草が刈られ歩きやすく、これは高森ボランティアの方々のおかげであるとわかり、その苦労を想像しながら道を進みました。お天気の方は青空で真冬とは思えない穏やかな午前でした。

平和な街並みと鹿島神社への大渋滞の車列を見ながら桶居山への分岐点を通過しました。この辺りではまだまだ元気です。イノシシの出没あとの印を見ながら、鉄塔桶居山でSさんと合流です。ここで荷物をデポして体が軽くなり、桶居山へ一気に登ることが出来ました。

長距離の場合は、荷物がデポできる有り難さは、大いに歓迎でした。出発から3時間で桶居山山頂。

このころの天気は、雪がチラチラしたかと思うと、さっと風に流れて青空になったり、また強風に乗って吹雪いたり、お天気がコロコロと変わりました。

ただ美しく幻想的だったのは、海面だけがキラキラと光り、その中に小さな島がポツリと見える風景。

冷たい風を頬に受けながら、桶居山から別所中池まで、下りてきてやれやれ。小休止の後、そこからの登り返しで百間岩までのアップダウン、みんなの足並みが揃うように、待って下さるリーダーさん。何とか無事に鹿島神社に辿りついた時は、ほっとしました。

このトレーニングができたことで、今年も頑張れそうな気がしました。





◆◆高御位山遊会新春トレに参加して 木畑

今回、昨年に続き2回目の新春トレである。晴天のもと各班約名5名ずつに分かれ総勢22名で高御位山經由桶居山を目指した。気温は6度前後の寒さを感じた。が登り始めると体に丁度良い快適な体温を感じるようになった。

高御位山に登る道中では早くも春を感じさせるピンク色のサツキが一輪咲いていた。高御位山で参拝の後小休止して、一路桶居山へと進む道中何組もの登山者と挨拶を交わし、分岐を過ぎると交差する人はほとんど無く、幾つかの小山を越えると西前方に姫路の市街地と白亜の姫路城が見えた。南前方には家島、小豆島と晴れた瀬戸内海を一望することが出来た。すばらしい眺めである。

登り始めて3時間ようやく目ざす桶居山をとらえることが出来た。昼前のひと踏ん張りでも到達後近くの日当たりの良い場所で昼食を摂る。しかし突然雲行きが怪しくなってきた。みぞれ交じりの猛吹雪である。食事中であったが箸を止め多くの人がいっせいにシャッターを切った。

暫くすると降らした雲の集団は、東へ去り空は晴れてきた。全員天気を気にしながら下山を急いだ。14時前に平坦な道路まで辿りついて小休止。一人の落伍者もなく元気である。しかしこれからが大変！5つの小山を超えて百間岩を降りるルートに行く。自分にその体力が残っているか自問自答？、前に進むしか無いとゆっくりと歩を進めるとようやく縦走路の合流点に辿りついた。ふりかえって高御位山から続く稜線を見ながらこの山の奥深さと魅力を感じた。

鹿島神社まで下り初詣の人々で溢れた参道をかき分け、足早に長尾新池駐車場に向かった。無事到着、時刻は3時50分。約7時間(歩数28000)の歩きでした。今年も日々足腰を鍛えて皆さんと山登りが出来るか？少し自信がついてきた。

4班澤田リーダーはじめご一緒させて頂いた皆様にお世話になりました。ありがとうございました。